

おおさき

広報

PUBLIC RELATION

2006. 5
No. 2

平成18年5月1日発行
[毎月1日発行]

おおさき 探訪

vol.2 古川
Furukawa

表紙の写真・
春を告げる風物詩 古川八百屋市



特集

大崎市ファミリーサポートセンター
活用のすすめ



やあやまち 八百屋市と緒絶川の藤棚 懐かしい景色に心なごむ

伝統の市だが、今も昔も変わらない懐かしい活気と人情にあふれています。

買い物の後に中心部を流れる緒絶川に足を向ければ、川沿いの藤棚一面の鮮やかな紫が川面に映えます。五月八日から二十九日までは夜のライトアップが行われ、風情ある街並みに趣を加えます。さらに五月十三日には「古川ふじまつり」も開催され、樂しへやべつてが盛りだくさんです。また、緒絶川沿いには、醸屋（かねの）や緒絶の館もある、わざわざな楽しみを発見でもね。

よううと早くもして古川へ出かけたみおちゃん。今日は地獄懐かしい風景で樂しへる人の出合が待っています。



やあやまち 古川八百屋市

期間 4月から6月までの3と7のつく日（30日、31日は除く）午前6時～
場所 古川前田町鳥堂熊野神社境内
開設 400年を超える伝統的な朝市。
新鮮な野菜はもちろん、漬物や山菜、苗類などが所狭しと並びます。

青く澄んだ春の朝の静けさへと「古川八百屋市」の開催を知らる花火が響き渡ります。「古川八百屋市」は四百年の伝統を誇る古川の春の風物詩です。採れたての新鮮野菜、生花、園芸用の苗類など、会場の熊野神社境内いっぱいに並びます。

会場には、売つ手と買ひ手の楽しい駆け引きの声が響き、人の顔にも笑みがこぼれます。田移りするほどの品々と樂しへ余話に買ひ物の本当に樂しさを実感すればいいなだけで六月おでの三十七のやく日が待ち遠しそうな気分です。

伝統の市だが、今も昔も変わらない懐かしい活気と人情にあふれています。

買い物の後に中心部を流れる緒絶川に足を向ければ、川沿いの藤棚一面の鮮やかな紫が川面に映えます。五月八日から二十九日までは夜のライトアップが行われ、風情ある街並みに趣を加えます。さらに五月十三日には「古川ふじまつり」も開催され、樂しへやべつてが盛りだくさんです。また、緒絶川沿いには、醸屋（かねの）や緒絶の館もある、わざわざな楽しみを発見でもね。

よううと早くもして古川へ出かけたみおちゃん。今日は地獄懐かしい風景で樂しへる人の出合が待っています。

古川ふじまつり

期間中は藤棚のライトアップや写真展のほか、5月13日㈯は緒絶の館前広場やリサイクルデザイン工房などでイベントが行われます。

詳細は 14 ページ



藤棚ライトアップ

期間 5月8日㈪～29日㈪
午後6時30分～10時
場所 緒絶川沿い
(千手寺、二ノ構、川端)



せせらぎ
探訪 古川
vol.2 Furukawa



環境に優しい大豆油インキを使用しています



古紙配合率100% 白度83%再生紙を使用しています